

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage

月刊ステージ・アップ

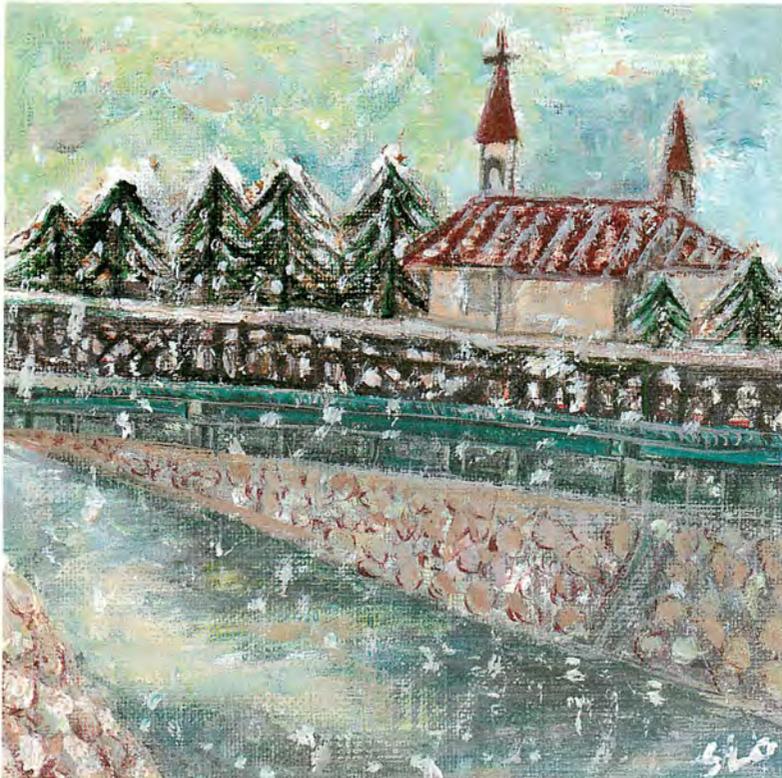
up

'92
12

月号 【1日発行】 無料

市民企画講座

好評連載 ● 高橋清市長の随想



仲野橋

シンポジウム『川崎のごみ問題を考える』
生活の
物差し
便利より環境を配慮

随想 運動会は日本人の原風景 高橋清川崎市長 ————— 3

市民企画講座「くらしやすい地域エコロジー」 ————— 4

シンポジウム 『川崎のごみ問題を考える』 ————— 4

参加者募集 『92市民企画講座第3弾

「現代人の心のブラックホール」 ————— 8

ベルイマン監督作品『野いちご』の観賞と小森陽一さん(文学評論家)のお話

◆はりきつてます グループ紹介 ————— 9

独創派ミセス十三人 手作りネクタイ同好会

学習 ●文化情報 ◆会員募集 ————— 10

「ステージアップ」配布場所／どくしやの声 ————— 13

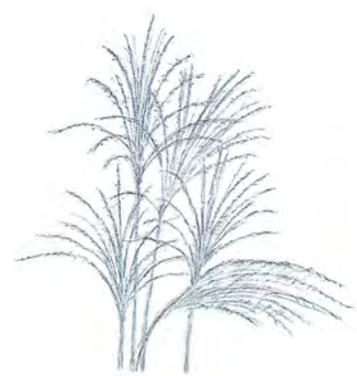
かわさきエクセレント モーツァルト・オペラ

『フィガロの結婚』に1400人が陶酔／編集後記 ————— 14

◎随想絵 藪柑子(やぶかんし) ————— 田村あや

◎もくじ絵 ススキ ————— 清水幹子

◎表紙絵 麻生川にかかる仲野橋(麻生区上麻生三二八先、バス停新中野橋で下車) ————— 田島志織



●随想● 高橋清 川崎市長

思いつくまま ⑧



運動会 少年の日は 長かりき

沙美

少年にとつて、運動会の一日は長い。

前夜から、期待と不安が入り交じる興奮は抑えがたく、布団にもぐってもなかなか寝つくことができない。ウトウトするうちに、薄暗がりの中で、台所に立つ母の気配を感じるや、一気に布団から跳ね起き、外にとびだす。

ひんやりとした秋の冷気の中に好天を確かめ、今日一日の生気を蓄えるように深呼吸。晴れ舞台を想いえがきながら、ぐっと身を引き締める。

運動会と聞いて、幼い日々のこんな胸の高まりを憶い起こされる人も多いことと思います。

澄みきった青空が広がる秋の一日、私は今年で十五回を数える身障者の皆さんの合同運動会「手を

つなぐ体育祭」に列席しました。

身体へのハンディもものは、駆けっこ、玉入れ、綱引き、さまざまに工夫された競技に懸命に取り組む姿を見つめながら、私はふと、「スポーツとは、技術の巧拙をこえて、人それぞれの限界を楽しむことにその無上の喜びがある」と書いた、スポーツ好きの詩人の言葉を思い出していました。

運動会は日本人の原風景

秋の柔らかな陽差しのもと、運動場で練りひろげられる身障者の競技からは、これまでの限界を乗り越えた喜びと解放感で全身が輝いていました。そして、運動会を陰で支えているボランティアの間からどつと歓声がおこります。

競技するものとそれを見るものが一体となって溶けあう底抜けに明るい光景に、私は技を競いあうスポーツ大会とはひと味ちがう運

動会のもつ独特の魅力に引きこまれてしまいました。

運動会とは、日本人のだけれども抱くふるさとの原風景といえなくもありません。

運動場いっぱいゆらめく万国旗とくつきりと描かれたトラックの白線。駆けっこにはじまり、綱引き、騎馬戦、玉入れ、そして運動場を歓声の渦にまきこむリレー競技。

興奮の波が引きかけた頃、急に襲ってくる空腹感。待ちにまった昼食の時間です。そこで、お重いっぱいにつまったご馳走を囲んでの一家団欒の花が咲きます。

だれの心にも鮮やかによみがえってくる運動会の光景は、演じる者と観る者が互いに感情を移入しあい、一体となって、楽しさを分かちあう「祭り」の魅力そのものです。

目の前を歯を食いしばり、顔をゆがめて走り、投げ、演じるのが、日ごろから見かける隣近所のケンちゃん、幸ちゃんだから応援にも力が入り、村や町総出のお祭りになるのでしょう。

私たちの時代にくらべ、運動会

の様子も多少、様が変わりてきているようですが、この演じる者と観る者との一体感が誘う愉楽だけは今も昔もかわらない記憶として、



これからも人々の胸の奥に生きつづけていくのではないのでしょうか。運動会 昔も今も 椅子並ぶ

佳世子

(十月二十日記す)

市民企画講座

川崎のごみ問題を考える

シンポジウム

【パネラー】

- ◆大野 圭子さん (川崎・ごみを考える市民連絡会)
 - ◆大倉 朝さん (川崎牛乳パックの再利用を考える連絡会)
 - ◆浅沼進一郎さん (ダイエーKK消費者サービス部)
 - ◆岡口 芳正さん (市多摩清掃事務所長)
- 司会…生駒みをさん (宮前市民館前社会教育指導員)



岡口さん

司会 最初に岡口さんから行政の取組みの現段階についてお話しを願います。

岡口さん 川崎のごみの現況は、昭和五十九年まで年間増加率が二

「ごみ非常事態宣言」から二年 微減したが油断禁物

岡口さん

シンポジウム「川崎のごみ問題を考える」が十月五日開かれた。生涯学習振興事業団の市民企画講座『くらしやすい地域エコロジー』の一環で、企画スタッフ代表の山崎紋子さんは『便利さがくらしやすさ』と思ってきたことが環境破壊に結びつき、くらしにくくなっているのが現実。企画した側の願いは、地域エコロジーが川崎エレジューではなく、川崎エートコロジー(よいところ)になることです」とあいさつした。

四人のパネラーの問題提起のあと、フロアーの参加者もまじえた活発な討論が行われた。

%でしたが、同六十年から平成元年の五年は年間各五%と急激に増えました。このままでは焼却場や埋立地にも影響するので、市は平成二年六月、「ごみ非常事態宣言」を出して市民に減量と再資源化をお願いしたわけです。

この結果、同元年から三年までの三年間は一・七%の微減となりましたが、とても油断できる状態ではありませんので、分別収集の拡大と集団回収の拡充を引き続き進めていきます。

現在行政が市民の皆さんと二人

三脚で取組んでいることは、①分別収集推進委員制度の発足(現在、一、五四二人)②資源集団回収事業の助成(今年三月現在、登録住民団体は七百団体、回収量二万四百ト、回収量トン当たり三円助成)③生ごみコンポスト化容器の購入助成(昨年度は一、八〇二基購入され、一基当たり二、八〇〇円助成)④牛乳パックの回収支援(昨年度は五十六ト回収)⑤事業系ごみへの対応(会社、事業所に対して古紙などの減量、再資源化の計画作成、平成六年までに二五%減量の計画書提出の依頼と指導。過剰包装自粛については大型店を対象にギフト商品の包装簡素化を依頼)。

また、行政単独の取組みとしては、①リサイクルビレッジの開設(粗大ごみに手を加えて再利用の斡旋。王禅寺では三年度六二四件)(三年度は一、一八四件を橋渡し)②不用品交換紙『エコ』の発行(空缶きれい君の設置(空缶を入れると図書券に兌換する券が出てくる仕組み。王禅寺では一日平均九、五〇〇個)④空瓶収集車(十一月から始まる空瓶分別収集のため全市で五台用意。

市民企画講座



問題を提起する大野、浅沼、大倉、岡口の各氏(右から)と司会の生駒さん。

以上が川崎のごみ行政の現状ですが、ごみ問題は市民、事業者、行政の三者が一体となって初めて解決の答案が出せるもので、今、それぞれの立場で何ができるのか、何をしなければならぬか、真剣に考える時だと思っています。

大倉さんをお願いします。



大倉さん

大倉さん 一枚の牛乳パックが何を語りかけてくれるのかということをお話を聞かれます。バックとの出会いは十年前、仲間が韓国籍の老人から「韓国では牛乳パックからパルプを取り出して紙を作っている」と話を聞いてきたことでした。当時は原始的な方法でしたが、パックを水につけたものをバットで打ち、中からパルプを取り出して木枠に流し

一枚の牛乳パックからモノの命の大切さ知る

大倉さん

て干したところ、素晴らしい紙ができたのです。そこで牛乳パックって何なんだろうと皆さんと考えるのでした。

調して運動を進めたので川崎では検品作業も比較的にスムーズにしています。

その原料は、北欧やカナダの針葉樹から作られるパージンパルプで、繊維が長いので紙を漉くことができることを学びました。以来、パックのビニールコートを剥がして紙漉きを続けていきましたが、全国的、全県的なパック再生紙運動の高まりのなかで、平成二年三月に川崎連絡会を結成して翌月から回収を始めました。当初はステーションが少なかつたのですが、同年七月からダイエーの参加もあって全市に広がり、二年度は一八ト、同三年度は五六トと三倍になりました。

私たちの運動は、モノの命を大切にするという原点を踏まえて根気よく続けたのに加え、行政や量販店などの強い協力者があつたからネットワークができ、成果を上げつつあるのだと思います。

問題は牛乳パックを回収してくれる業者が採算割れで苦しいことです。回収量が増えると値崩れするという状況なので、行政がこれらサイクルの静脈産業を育成し、

ぜひ守っていただきたい。気になるのは子どもたちのことです。「子どもは大人の後姿を見て育つ」と言われてきましたが、今の大人の後姿を見て育つのは困るのです。子どもにモノの大事さを教えてあげ、子どものやっていることを見て、大人がハッと気がつく、そんな世の中になっていくことを望みたいと思っています。

回収といっても集めるだけではダメです。パックが汚れたり濡れていけば「ごみ」で、きれいに洗って乾かしたものでなければ資源化にならないのです。この点を強

市民企画講座

司会 小さな運動が大きく広がっていった歩みがよくわかりました。続いて、流通産業の立場からリサイクル型社会に向けて行動されているダイエーの浅沼さんをお願いします。



浅沼さん

浅沼さん スーパーはセルフ販売ですので、食品や生鮮品などはハダカで持ち帰りができず、安全衛生面からも便利なトレイ、パック等の包装資材を開発してきたのです。私どもも今日の時代を予測していなかった訳で、責任の一端を痛感しております。

スーパー側の取り組む課題は三つあると思います。第一は減量化です。野菜等のハダカ売りとか、包材の転換で減量する。第二は再資源化です。そのまま再利用するリユース、もう一度原料に戻して再生するリサイクルです。第三は

店頭での減量・再資源化が 社会的システムに

浅沼さん

情報提供で、店頭でお客さんにリサイクルを呼び掛け、協力をお願いすることです。

当社の具体的な取組みは、リサイクルとその結果再生された環境対応商品です。

リサイクルの身近な例は牛乳パック。昭和六十一年二月、大阪の門真市の店での地域住民による生活学校の回収活動が始まりました。当時は回収を広げる考えはなかったのですが、それがダイエー全国主要店舗の毎日回収（今年六月から）に広がったきっかけは、平成二年七月に大倉さんたちの協力で始めた川崎向ヶ丘遊園店での月一回の店頭回収です。これが神奈川県下と全国へ拡大され、今では全国一八三店の合計で月間六五％に達しています。

アルミ缶は、鉱石から精錬する際のわずか三％の電力で再生できる最高の資源といわれていますが、これにはスチール缶との分別が必

要です。当社では一五六店に分別のプレス君を設置してアルミ缶だけでも月間九五％回収しています。この空缶は、それぞれ原料資源として企業に売られ、売却金はお客さんに代わって環境財団に基金として寄付しています。今後の地域社会への還元方法を検討中です。

環境対応商品では、発泡スチロールから植木鉢、ハンガーなどの原料を再生しているほか、アルミのフライパン、植物性油脂の容器など再生された新しい商品が、店頭に並んでいます。

現在の不況下で、私どもの環境対策費が切り詰められるようなことになっては困ります。店頭での努力が、リサイクルの社会システムのひとつとして機能するように大きく育っていかねければならないと思っています。

司会 最後にになりましたが、ごみ問題を市民運動として取り組まれている大野さんをお願いします。

大野さん 私は、第一次オイルショック騒ぎの頃、東京でごみ戦争が起り、関心を持ち始めました。プラスチック製品が増え始めた時でもあり、何となく疑問を感じて勉強しました。

そして思い立って、全国の政令指定都市をはじめ工業技術院、大手電気メーカー、市内の資源回収業者等へごみ問題に関するアンケート調査をしました。しかし、勉強した結果をどう生かしたらいかがわからず、自分の力のなさを感じていました。

こんな時、昭和五十三年、地域の皆さんの協力で「多摩の市・大バザール」を開き、使い捨てはこのままでよいのか、ごみや資源問題は住民の責任もあるのではないかと訴えました。その流れで実際に雑瓶の回収を始め、翌年から資源の分別収集（十種類）をスタートさせ、現在まで続いています。

「多摩の市」で集まった団体が、地域のことを考えるために誕生したのが「多摩の市・連絡会」です。七年前に「リサイクルセンターの設置」の請願を提出、採択されて来年ようやく第一号が実現します。

市民企画講座

足元からの行動が 行政と政治を変える

大野さん



大野さん

また、二年前「川崎のごみをどうする」という学習会の参加者で「ごみを考える川崎市民の会」をつくり、市への要望、提言、見学のほか、スーパー店での減量チェックを続けています。

こんなことをお話ししたのは、一人では無理でも、ちよつとしたきっかけや出会いから人の輪ができて、それが波及していくうちに少しずつ変わるということを体験的に実感しているからです。今年五月「川崎・ごみを考える市民連絡会」を結成したのも、小さな力が集まれば清掃行政を少しでも変え

ていけるのではないかと思っただけです。

これまでの生活で、便利さと効率に物差しを置き過ぎたので、これからは自然のサイクルに目を向けるべきだと思います。地球規模で考え、地域で行動する”は納得できる言葉で、まず、マナーを守って自分の足元からやらなければなりません。

同時に、市民の力にも限りがあります。事業者はその責任をキチンと果たしてもらうには、より大きな、法的な力が必要です。

それと、事業者には商品を購入する際の判断基準となる情報を出して欲しい。例えば、商品自体がいくらか、包装費はいくら、包装がごみとして処理した時の経費はいくら、という表示をして欲しい。これらを実現していくには政治自体を変えていくことも考える必要があるでしょう。

《市民の発言》

資源再生業者の育成施策を ごみを環境のために使う運動を 古紙のリサイクルが重要

男性A せうかく回収しても業者が引き取らない、また赤字覚悟でやらざるを得ないという実情だから、これら再生業者に減税などの優遇措置を講じるべきだと思う。

女性A 自分が出したごみは自分の環境のために使う市民運動、例えば、川崎から発信するハガキ

は、全部パック再生紙を使うとか、ごみ焼却灰をレンガや道路のタイル、植木鉢に再利用する運動を始めてはどうでしょうか。

岡口さん 焼却灰の再生には莫大な経費がかかります。どこまでお金をかけることが市民の納得となるのが問題です。

男性B 川崎市民の一人当たりのごみ排出量は、東京都とかなり大きな差がある。同じ市内でも区によって相当違う。清掃局の資料では、個人商店や事務所のごみも家庭系ごみに一本化されているから、これでは問題の焦点がはっきりとせず、解決が前進しない。何

が原因かを分類して調べるべきだ。また、パックや空缶のリサイクルも大切だが、ごみ総量の半分近くを占めるのは紙なので、紙ごみ全体のリサイクルを真剣に考えないと焼却場がパンクしてしまう。行政は問題解決の基本的な道を考えて欲しいと思う。



生駒さん

司会 資源を大切にし、リサイクルを拡大するために、市民、企業、行政がそれぞれの立場で、何ができるのか。本日は多くの問題が出ましたが、これをステップに更に考え、行動し、話し合いを続けて解決へ向かいたいと思います。

現代人の心のブラックホール

私たちは戦後、より良い暮らしを求めて猛烈に働きつづけ、わが国は「経済大国」になりました。しかし、その結果は生涯の働きに見合う幸せや豊かさが得られたのでしょうか。

この「豊かさ」の陰で、他人への思いやりが失われ、孤独で乾いた人間社会がしのび寄っています。物質文明とは、真の幸せとはが改めて問われています。

市民企画講座「現代人の心のブラックホール」で、充実した人生をおくるために、どのように人や社会と関わっていくべきかを一緒に考えませんか。

この講座で上映されるペルイマン監督作品「野いちご」の主人公は、医師として名声を得た75歳の老人。若い日の恋も実らず、妻と息子に背かれた老境の心情を描いた話題作です。

第1回 孤独はなぜつくられるか

—— ペルイマン監督作品「野いちご」の観賞と講演 ——

日時 — ’93年1月23日(土) 13~17時

会場 — 麻生区役所4階大会議室 (小田急線新百合ヶ丘駅北口下車)

講師 — 小森 陽一・東大助教授 (日本文学評論家)

第2回 葛藤への挑戦

日時 — 1月30日(土) 13~15時

会場 — 新都市情報センター会議室

(小田急線新百合ヶ丘駅北口下車・新百合21ビル1階)

講師 — 小森 陽一・東大助教授

申し込み●12月16日(水) 9時から電話受け付け
☎952-5000(問い合わせも)

主催●(財)川崎市生涯学習振興事業団
同事業団市民企画スタッフ

受講料 無料

◆定員は第1回が300人、第2回が80人
(いずれも先着順)

独創派ミセス十三人

手作りネクタイ同好会

いづれも、さうりやう

グループ紹介

月三回火曜日の午後、中原市民館実習室で、「手作りネクタイ同好会」＝福田歌子代表(63)＝の会員十三人が思い思いの作品作り



手作りの決め手は 刺繍と染色にあり

に熟中し、自分の手を動かして物を作る喜びを満喫している。

今から十二年前に発足した同会の会員は、三十代から七十代の主婦までと幅広い。「いろいろな世代の人の作品を見ると目が肥えて、刺激があります」と同代表は語る。

ネクタイ作りは、ネクタイ専用の布や和・洋服の布を利用。芯止めまつり縫い、タツフ縫い、ノータツフ縫いがあり、九〇cm×五〇cmの布で二本作れる。また、アスコット・タイや蝶ネクタイ作りにも挑戦している。

刺繍と染めのポイント付けが決め手で、「世界中で一本しかない、すてきなネクタイ」が誕生する。夫のネクタイをリフォームして、孫の七五三用蝶ネクタイを作った人もいる。

岡部八重先生(65)は、「ネクタイは布で見た時と出来上がった時の感じが違います。個性的な作品を作るコツは、その見極めが出来るかでしょう」と手作りの良さを強調する。

ご主人に二十本のネクタイをプレゼントした斉藤澄子さん(51)は、「ネクタイの流行に敏感になり、テレビを見ていて、アナウンサー

のネクタイが目がいってしまいます」と話す。

栗田静子さん(77)は、「男性のおしゃれはネクタイが決まります」ときっぱり。「息子は口には出さないけど嬉しそう。こつそり使っているみたい」とニッコリ。

最近、ネクタイの染色に強い興味を持つていた人が、洋服や小物に型染め、木の葉染めをして日常生活を楽しんでいる。

型染めは渋紙に図案を切抜き、筆で色を付ける根気のいる作業だ。「染め物を始めたら、無地の洋服を着るのが物足りない」と笹野鈴子さん(64)。「無地の帯に型染めをするのが夢」という。

「会員のいつも新しい事に挑戦し、独創的な芸術作品を作り出そうという姿勢を大切にしたい」と、岡部先生はしめくくった。

ネクタイ、洋服、小物と物は違っても、プレゼントする人の顔を思い浮かべ、その人にあつた色や好みを考える楽しさは、手作りならではの世界といえそうだ。

同代表宅は高津区久本一三一、
☎ 877-11397。

(取材・松本成代)
(カメラ・田島志織)

学習・文化情報

探していた講座がある

講座・講演



「消費生活アドバイザー資格試験準備セミナー」◆生涯学習振興事業団「来年1月28～7月22日の毎週木曜13時半～16時。全22回。対象は市内在住在勤の方。定員先着50人。受講料3万円、教材費1万円。申込みは12月16日より☎95215000の当事業団。

「市民企画講座」心のブラックホール◆麻生区役所「来年1月23日(土)13～17時：孤独はなぜつくれる(ペルイマンの映画「野いちご」をみて)。定員先着3百人▽来年1月30日(土)13～15時：葛藤への挑戦。定員先着80人。いずれも講師は文学評論家の小森陽一さん。受講料無料。申込みは12月16日より☎95215000の生涯学習振興事業団(主催)。

「ジャズダンス入門」◆立高津青少年会館「12月3、10日の18時半～20時半。全

市外局番のないものは044

学習・文化情報

2回。定員20人。☎84412101。

「健康体力改善教室」◆市体育館「来年1月8～3月26日の毎週金曜14時半～16時半。全11回。健康・体力に自信がないが、運動を始めたたい人を対象に、メデイカルチェックをしながらトレーニング指導を行う。指導は健康システム研究会の小山内医学博士ほか。定員40人。受講料3千円。申込みは12月18日14時に直接来館。☎200013255。

「こどもの生活学」シンポジウム▽日本女子大公開講座◆日本女子大・西生田校舎「来年1月9日(土)13時半～15時半。シンポジストは同大の一番ヶ瀬康子教授ほか。受講料無料。定員先着百人。申込みは12月16日10時から☎900013020の多摩市民館。

「エイズに背を向けないで」家庭で・地域で・学校で、共に生きる社会を考える◆多摩市民館「来年1月23～3月13日の土曜14～16

時。全7回。「エイズを正しく理解する」「人間教育としてのエイズ教育」など心のあり方を考える。対象は15歳以上の方。定員先着40人。申込みは12月16日9時から☎900013020の同館。

「障害福祉講座」心の健康・不健康◆福祉バルカワさき「12月5日(土)14～16時。ストレス社会、過緊張の時代での心の病、精神障害を考える。講師は池上クリニク院長で精神科医の池上秀明さん。対象は市内在住在勤の方。定員先着50人。受講料無料。申込みは☎24615500。

「宮前テレビセミナー」テレビ番組はこうして作られる・テレビ番組制作現場ウォッチング◆宮前市民館「来年1月9～2月27日の毎週土曜10～12時。全8回。ドラマ部門、身近な地域情報番組を取り上げ、その番組作りを迫る。NHK、東急ケーブルテレビの放送センターの見学もある。講師

はNHK大河ドラマ「琉球の風」制作スタッフほか。定員40人。受講料無料。申込みは12月19日9時より☎88813911の同館。

「成人健康講座」人生80年代のヘルシーライフをめざして◆麻生保健所「12月2日は「骨粗しょう症の予防について」(市医師会・吉松信彦先生)▽8日は「腰痛・肩痛・膝痛について」(市医師会・飯野龍吉先生)▽16日は「ほけの予防について」(市医師会・朝日洋一先生)▽来年1月21日は「高脂血症について」(市医師会・伊奈宏先生)。

いづれも13時半～15時。申込みは☎95313111(内)314の同保健所・庶務課。

「平和人権学級」◆教育文化会館「来年1月30～3月27日の毎週土曜14～16時。「日本人と平和・人権感覚」その検証と克服。申込みは1月16日から☎23316361の同館。

「平和人権学級」◆ふれあ

い館」来年1月22～3月26日の毎週金曜19～21時。「在日韓国・朝鮮人と日本人」交流「歴史」から未来をみつめる。申込みは1月8日から☎27614800の同館。

「平和人権学級」◆幸市民館「来年1月23～3月20日の毎週土曜14～16時。「地球環境を考え、身近な一歩を踏み出すために」。申込みは1月9日から☎54113910の同館。

「平和人権学級」◆中原市民館「来年1月16～3月13日の毎週土曜13時半～16時。「だれもが幸せに暮らせるために」地域から平和を考える。申込みは12月15日から☎72217171の同館。

「平和人権学級」◆麻生市民館「来年1月23～3月13日の毎週土曜10～12時。「世界の開発と平和を考える」。申込みは1月16日から☎95111300の同館。

学習・文化情報をお寄せ下さい。掲載は無料です。

学習・文化情報

探していた講座がある

初春の成人学校

受講料：1科目 3,000円(科目により教材費あり)
申込み：土・日を除く午前・午後科目は10時までに、
夜間・土・日科目は18時半までに直接来館。

会場	教育文化会館 ☎233-6361	幸文化センター ☎541-3910	中原市民館 ☎722-7171	高津市民館 ☎833-7411
期間	1月14日～3月30日	1月19日～3月26日	1月13日～3月31日	1月19日～3月26日
受付日	1月7日(木)	1月12日(火)	1月8日(金)	1月8日(金)
科目	午前 カラー・コーディネーション (金)30人	古典文学 (火)50人 たのしい親子体操Ⅱ (木)30人 バラエティーお弁当作り (金)30人	子どもと教育～小学生の学び (金)40人 子育て教室～幼児期の遊びと生活 (金)30人	家庭でできる世界の料理 (火)30人 俳句入門 (金)30人
	午後 古今集・新古今集～王朝和歌の精髓を味わう (火)45人 やさしいお琴入門～日本古来の音色に親しむ (金)30人	たのしいデッサン (火)30人 西洋史を飾る偉人とその時代～近・現代 (金)50人	メルヘンケーキ (木)30人 中国の歴史 (木)40人 山野草と健康ウォーク (金)30人	高津区の郷土史 (火)40人 *日本史(中世Ⅱ) (金)
	夜間 *スペイン語会話入門 (木)	太極拳入門 (金)30人	和太鼓入門 (木)30人 健康ヨーガ (金)40人	星の話(観望会あり) (火)35人

※は継続科目

会場	宮前文化センター ☎888-3911	麻生文化センター ☎951-1300	田島分館 ☎333-9120	岡上分館 ☎988-0268
期間	1月13日～3月12日	1月9日～3月27日	1月19日～3月30日	1月19日～3月25日
受付日	1月8日(金)	1月8日(金)	1月8日(金)	1月14日(木)
科目	午前 セルフ・カウンセリング (木)30人 おとこの鍋料理～日本、韓国など色とりどりと (土)32人	成人病予防と食生活 (木)30人 色えんぴつ画 (木)30人	パッチワークキルト (火)30人	
	午後 歳時記による暮らしの演出 (火)40人 世界紀行～アフリカ諸国の横顔 (金)40人	ヒンドゥーの神々 (火)50人 成人病予防と運動 (木)40人		ストレッチ体操 (火)20人 俳句 (木)40人
	夜間 お酒専科 (木)40人 フランス語Ⅲ (金)	男の趣味シリーズⅣ～カードゲーム (木)30人	リフレッシュ体操 (木)40人	

会場	川崎市体育館 ☎200-3255	幸スポーツセンター ☎555-3011	麻生スポーツセンター ☎951-1234	
期間	1月19日～3月26日	1月20日～3月27日	1月13日～3月25日	
受付日	1月12日(火)	1月13日(水)	1月7日(木)	
科目	午前 バドミントン～中級 (火)40人		シェイプアップ・トレーニング (木)40人	
	午後 テニス～入門 (金)40人		太極拳 (木)40人	
	夜間 テニス～初級 (金)40人	バドミントン～中級 (木)40人 フィットネス・トレーニング (土)20人	バスケットボール (木)40人	

学習・文化情報

参加したい催しがある

催し



「自然観察会」城ヶ島の地質観察会◆三浦市城ヶ島 来年1月10日(日) 10時～15時(雨天の時は24日)。京浜急行三崎口改札集合。指導は県立光陵高校の相原延光さん。対象は小学4～成人 定員20人。申込みは12月16日より ☎92214731 の青少年科学館(主催)。

「天体写真撮影会」青少年科学館 来年1月17日(日) 19時～21時。火星またはオリオン大星雲を撮影。対象は小学5～成人。定員14人。雨・曇りの時は中止。小学生は保護者同伴。申込みは12月20日より ☎92214731 の同館。

「大ホール一般開放」市体育館 火曜はトランポリン(4台)、バドミントン(4面)、マット、鉄棒、平行棒、平均台、つり輪ほか▽水曜は卓球(24台)。いずれも午後の部は13時～16時、夜間の部は16時50分～19時50分。対象は小学生以上。ラケットなどは各自持参。

利用料は1回につき大人1200円、こども・学生600円 ☎20013255。

「ハイビジョンソフト放映」川崎の産業遺産◆川崎市産業振興会館 12月8日～10日の13時～17時。「利水と産業遺産」「海外技術と産業遺産」「国産第1号」「見て歩く産業遺産」。各8分。

ほかに「ZBIG MAN HATTAN」「雪国幻想十日町雪祭」「大空の詩ローマ航空ショー」も放映。詳しくは ☎54814117 の川崎市産業振興財団・情報開発課。

「寒げいこ」石川記念武道館 来年1月5、6、10日▽柔道、少林寺拳法、剣道は10時～12時▽合気道、空手道、なぎなたは13時～15時。定員は剣道百人、その他は50人。参加無料。申込みは12月13日10時から直接来館 ☎54410493。

「人形劇」多摩図書館 12月12日(日)。1回目14時～16時、2回目15時～17時。作品は「ママ、あててみて!」「三びきのコブタのほんとうの話」ほか。出演は

鶴川高等学校児童文化部。対象は3歳以上。定員各回先着30人。申込みは12月6日10時より同館カウンターで整理券を配布。 ☎91119323。

コンサート



「かわさき・ニューイヤークンサート」教育文化会館 来年1月10日(日) 18時半開演。出演はかわさき室内合奏団メンバー(弘中孝、店村真積、津堅直弘、久保陽子)とオーティション合格者13人。曲目はブルーランク作曲「ホルン・トランペット・トロンボーンのためのソナタ」・1922年作ほか。入場料千円。前売り中。詳しくは ☎95215000 の生涯学習振興事業団(主催) ☎23316250 の生涯学習情報コーナー。

「麻生市民ギャラリー」

12月4～9: パンの花百合丘グループ(バンフラワー)▽11～16日: 日和会(書道、絵画、手芸、写真、ねんど人形)▽18～23日: かしの会(油絵、水彩画)。問い合わせは ☎95111300 の麻生市民館。月曜休廊。

「かわさきIBM市民文化ギャラリー」12月3～21日11～19時。「'92国際漫画展」人類は何を求めているか?」。世紀末の嵐の中、旧ソ連、ユーゴスラビアから劇的な独立を果たした国々を始め、世界25カ国の風刺漫画家が描いた21世紀への警告。入場無料。水曜休廊。国際漫画シンポジウム実行委員会協賛。問い合わせは ☎

会員募集



22218821の市文化財団(主催)。

●囲碁研究会《喜多沢美枝代表》平均年齢五十五歳という若さです。女性の方大歓迎です。是非ご入会をお待ちしています。毎週月曜17時半～20時半、勤労女性会館で。入会金千円、会費千円(月額)。連絡先は ☎04515811650 の佐竹茂宅まで。

●古文書を読む会《麻生区王禅寺2729176、豊田忠法代表》近世の古文書を読み、身近な歴史や民俗を楽しみながら学んでいきます。10名ほどの小さなグループです。興味をお持ちの方どうぞご参加下さい。

第2火曜(自習)・第4土曜(講師指導) 10時～12時、県立高津青少年会館で。連絡は ☎95512767 の同代表宅か20時までに ☎922103379 の小川昭子宅へ。

ギャラリー



「ギャラリー伊月」12月1～6日12時～17時: なくらゆみこ「クリスマス・ミニ



つねに充実した内容で 感じられる職員の熱意

横浜市緑区荏田北2の6の21、主婦、西川絹江さん 私は中原図書館

で月1回、古文書の会に参加して7、8年になります。「Stage Up」は、常に充実した内容で編集スタッフの熱意が感じられます。「心の中のこる私の一冊」に「真知子」が載っていました。私も結婚前の若い時に読み、衝撃を受けたことを昨日のように思い出しました。

「私の一冊」から 誇れる人物像を知る

大和市福田5676の25、会社員、北村明延さん(65) 「心の中のこる私の一冊」の「帰って来ない子供達」で、バンングラデッシュの貧しい人々の中で奉仕する医師の姿を拝読し、

感激で胸が熱くなりました。このような生き方こそ、私たちが誇れる人物像です。ますます「Stage Up」のファンになりました。
◇編集チームから みなさんからのご意見をお待ちしています。掲載した「声」にはテレホンカードを贈らせていただきます。

本誌は民間公共施設 設のご協力により 130カ所で配布

「Stage Up」の無料配布場所は、12月号から新たに金融機関と画廊の二カ所のご協力を得て計百三十カ所となりました。

今後とも市民のみなさまに、生涯学習の多様な情報を提供し、ご活用いただける紙面づくりに努めたいと思っております。

市内いずれの地域の方々にもお届けするには、配布場所を増やす以外にはありませんので、各種機関及び市民のみなさまの一層のご協力をお願いいたします。

■小売店

さいか屋川崎店▽ヌマヤ川崎店▽イトーヨーカドー溝口店

■金融機関

川崎信用金庫本店と川崎市内の全支店(川崎地下街出張所・小田支店・京町出張所・大島支店・大師支店・渡田支店・遠藤町支店・加瀬支店・小倉出張所・鹿島田支店・古市場出張所・御幸支店・新城支店・住吉支店・武蔵小杉支店・新丸子出張所・平間支店・宮内支店・向河原支店・梶ヶ谷支店・子母口支店・高津支店・二子新地出張所・久地支店・野川支店・有馬支店・向ヶ丘支店・稲田堤支店・宿河原支店・中野島支店・長沢支店・登戸支店・柿生支店・百合丘支店・新百合支店)

▽横浜銀行川崎市内の全支店(川崎支店・大島支店・大師支店・御幸支店・鹿島田支店・武蔵小杉支店・新城支店・元住吉支店・溝口支店・鷺沼支店・川崎北部市場支店・登戸支店・稲田堤支店・生田支店・読売ラ

ンド駅前支店・百合丘支店・新百合

ヶ丘支店・柿生支店)

▽住友銀行川崎支店・宮崎台支店・

新百合ヶ丘支店

▽さくら銀行溝口支店・柿生支店

▽神奈川県労働金庫川崎南支店・川

崎支店・中原支店・新百合丘支店

■鉄道
JR川崎駅▽JR登戸駅

■医療機関
市立川崎病院▽市立井田病院▽太田総合病院▽聖マリアンナ医科大学院▽つつみ歯科新百合ヶ丘

■電力会社
東京電力川崎支社・高津営業所・生田営業所

■書店
文学堂本店(京急川崎駅横)

■クリーニング店
ホワイイト急便金程店

■事務所▽株川崎中央法律事務所

■画廊▽画廊ランブ屋

■公共施設
教育文化会館▽情報コーナー▽幸市民館▽高津市民館▽中原市民館▽宮前市民館▽多摩市民館▽麻生市民館▽菅生分館▽岡上分館

■新百合ヶ丘支店

▽市役所▽川崎区役所▽幸区役所▽中原区役所▽高津区役所▽宮前区役所▽多摩区役所▽麻生区役所

▽福祉パルあさお▽労働会館▽エポックなかはら▽中小企業・婦人会館

▽総合自治会館▽市民プラザ▽労働資料室▽消費生活センター▽ヨネッ

ティー堤根▽ヨネッティー王禅寺▽産業振興会館▽フルーツパーク▽緑

化センター▽県立勤労女性会館▽神奈川第二中高年齢労働者福祉センタ

ー「サンライフ川崎」

(この他、老人いこいの家に若千部

数置いてあります)

かわさきエクセレント モーツァルト・オペラ
「フィガロの結婚」 開く

スザンナ
1400人の観客が陶酔、拍手！
 佐藤しのぶの豊かな歌声に
 アリア「さあ早く喜びのときよ」



フィナーレで観客に応える池田、佐藤、白土、大倉(左から)

かわさきエクセレント モーツァルトオペラ「フィガロの結婚」が十一月十日夜、川崎市教育文化会館大ホールで開かれた。わが国を代表するプリマドンナの佐藤しのぶらのつややかな歌声と素晴らしい演技に千四百人の観客が魅せられ、惜しみない拍手がいつまでもつづいた。

フィガロ(池田直樹)はセヴィリア町の名理髪師。スザンナ(佐藤しのぶ)は伯爵夫人(大倉由紀枝)の身の回りの世話をしている女性。二人が結婚する日の出来事を伯爵夫人や伯爵(宇野徹也)、多感な少年のケルビーノ(白土理香)を加え、楽しく、コミカルに四幕二時間で演じた。

「フィガロの結婚」は一七八六年、ウィーンの劇場で王侯貴族たちを前に初演されて以来、世界各地で公演。オペラの古典が、この日、見事によりみえり、市民を感動させた。

編集後記

◆訂正とおわび 11月号「いまを話す」の米山市郎さん略歴のなかの、「同年、川崎ロータリークラブに米山記念奨学委員会をつくる」を「52年、米山記念奨学委員会委員長」に訂正します。なお、同委員会の設立者と米山市郎さんは別人です。

◆訂正とおわび 11月号「いまを話す」の米山市郎さん略歴のなかの、「同年、川崎ロータリークラブに米山記念奨学委員会をつくる」を「52年、米山記念奨学委員会委員長」に訂正します。なお、同委員会の設立者と米山市郎さんは別人です。

また、同号のうち、一部に印刷の汚れがありました。謹んでおわびします。

今号の4〜8ページは「92市民企画講座」特集としました▼シンポジウム「川崎のごみ問題を考える」は行政、市民グループ代表、事業者が忌憚なく話し合い、意見を交換したことは画期的なことです▼同講座の要旨は、今後も掲載します▼今号の「いまを話す」は休載させていただきます。

発行 財団法人 川崎市生涯学習振興事業団

〒215 川崎市麻生区万福寺一の二の二 新百合21ビル
 電話(〇四四)九五一一五〇〇〇 FAX(〇四四)九五一一三五〇

編集人 田中 園

同事業団生涯学習情報コーナー

〒210 同市川崎区富士見二の一の三 教育文化会館一階
 電話(〇四四)二三三一六二五〇

健康に役立つアルカリイオン水をご家庭へ…



アルカリイオン整水器 アルカリイオン整水器

mine balance *mine soft*
ミネバランス ミネソフト

標準小売価格 148,000円 標準小売価格 198,000円
(いずれも消費税・取付け工事費は別です)

体がアルカリ性だと健康で、酸性なら危険信号であることは広く知られています。

いま、飲料水への関心が高まり、水道の蛇口に浄水器を付けるご家庭が多くなっています。

しかし、浄水器でアルカリ水はつくれません。家族の健康を考えるなら、アルカリイオン水をつくる整水器です。2週間、無料でお試しになれます。

無料パンフレットの請求、商品のご注文、お問い合わせは
◆ 月～土曜日 9～20時

0120-096-608

AKAI 赤井電機株式会社 代理店 株ヒューマンテック・コーポレーション
〒215 川崎市麻生区万福寺1-8-7-306

お伝えします新鮮情報!!

Stage Line かわさき

川崎市生涯学習情報システムは地域の学習・文化・スポーツ活動を援助します。情報の内容は多様です。知りたいときにお電話ください。



施設情報/見学情報/情報源情報/講座・催し物情報/団体・グループ情報/指導者・人材情報/教材・機器情報/学習プログラム等情報/資格情報/電子掲示板

端末機は市内社会施設に27カ所、設置してあります。

お問い合わせは (財)川崎市生涯学習振興事業団情報センター
☎ 044-233-6250



かわしんマスコット
タットちゃん

暮らしの中で、ビジネスで
いつもお役に立ちたい。
かわしんは皆様の毎日に
大きな信頼でお応えします。



大好きです 私たちの街

川崎信用金庫

今年も、お歳暮は
さいか屋へご用命くださいませ。



とっておきのギフト一番星。
'92お歳暮総合
大ギフトセンター開設6階



さいか屋川崎

〒210 川崎市川崎区小川町1番地
TEL. 044-211-3111